

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	病児保育室『カンガルーム』
所在地	四日市市中部8番17号
指定管理者	名称 医療法人 里 仁 会 代表者 理事長 二宮 俊之 住所 四日市市中部8番15号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書や決算報告書、利用者アンケート等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	福祉部児童福祉課 TEL：059-354-8172 E-mail：jidoufukushi@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

当施設は医療法人との併設で、小児科医師による診断を行ったあとに、病児保育室の利用について判断がなされている。小児医療としっかり連携して、体調の急変にも対応できるよう、職員配置や設備などにも工夫され、細心の注意をもって、病気回復期の児童を預かっている。なお、同法人はISO9000の品質マネジメントシステムを採用しており、病院経営のノウハウを活かして、事務・経理のほかリスクマネジメントなどの安全管理にいたるまで、明瞭な管理運営体制をしいている。また、保護者などに利用者アンケートをして、より満足度の高い保育サービスの提供に努めていただいております、堅実かつ適正に運営されていたと思われる。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

特に利用者からの要望として、開館時間の延長や市外在住者からの施設利用が出されているが、二宮病院での事前診察が利用条件であるため、病院側の運営方針とも協議する必要がある、また市外在住者の利用については、他市町との調整を図りながら、指定管理者と協議を進めていく。さらに、衛生管理や安全管理をはじめ、施設内感染の防止等に留意し、病気の流行期においては、利用児童数に応じた柔軟な対応ができるよう、保育の質の向上と保護者が安心して利用できる病児保育施設として引き続き努めていくように指導していく。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

病児を抱えた保護者が安心して労働できるために病児保育を行うというメリットがあり、緊急を要する医療行為等にも柔軟に対応できる福祉施設として重要な役割を果たしている。なお、立地条件としては、市の中心部に存在することもあって、利用者の利便性もよい。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

本施設は、病気回復期である児童の身体的、精神的なケアを行うために、他の医療機関との情報交換や小児科医の診察、指導を経て、専門の保育士、看護師による保育と看護を行い、四日市市内唯一の病児保育室として、子どもの健康の維持と子育て家庭への支援に重要な役割を担っている。また利用者からの評価は大変高く、利用者アンケートでも満足度が高い。市の担当職員による管理状況確認においても、適正な運営がなされていて、円滑に業務が進められている。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

常駐職員が2名（保育士、看護師）ではあるが、病気流行期には事前登録制のオンコール保育士等を非常勤雇用し、入所児童の受入数に応じて適時保育士を補うことができるなど、運営母体である病院からの支援体制も調っているため、緊急時の対応においても柔軟に行われている。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

事業の収支決算報告書では支出が超過しているが、利用にあたっては病院での診療代等が法人に対して支払われ、法人会計から繰り入れされていることから、収支実績としては支障なく推移すると考えられる。施設内での事務取り扱いについては、定期的に市の担当者が確認したところ、法人の事務長を中心に、担当職員が適宜処理を進めて適正に運用された。また、利用における登録事務や入金処理などにも誤まりはなく、正確かつ迅速に事務処理がなされていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

施設管理においては、保育室の確保や換気制御装置も設置されており、多種類に及ぶ病気が発生した場合でも、病気ごとに異なるスペースで保育するなど、施設内感染の予防に努め、施設の機能を正常かつ安全に維持している。

安全管理面でも、二方向への避難経路の確保や消防隊の非常進入口としてベランダを設けるなど、法人の管理担当職員からの指導のもと、適正な維持管理に努めている。

社会性（環境等への配慮）

職員が各自で省エネを心がけ、無駄な電力使用は避けるとともに、廃棄物の分別にも取り組んでいた。また、児童を預かる施設として、日ごろから清潔を保ち、快適な環境づくりに心がけている。

事業収支

経済性

指定管理料は、看護師や保育士の人件費が主なもので、病児保育事業としては例年赤字となっているが、当施設を利用する場合は、利用前に二宮病院での診察が必要であるため、法人には診療報酬として収入がある。また、カンガルーム担当の看護師は、利用時の診察について補助的役割を果たすこともあるため、指定管理者として責任を持って業務を遂行し、人件費分の補填については、柔軟に対応されていることから経理上の問題はないと判断する。

団体の経営状態

経営の健全性

財務諸表等の内容を精査したところ、医業活動によるキャッシュ・フローも大きくプラスが維持されており、流動比率も高く、健全な財政運営がなされていると考える

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市病児保育室『カンガルーム』		所管課: 児童福祉課
所在地	四日市市中部8番17号		設置年月: 平成12年8月21日(開設)
設置目的	保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病児回復期にある児童を一時的に預かる施設として、四日市市病児保育室を設置する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市病児保育室設置条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	180.10㎡
		延床面積 (㎡)	225.60㎡
	医療法人 里仁会(病院名: 二宮病院)の敷地の一部を借り受け、病院併設型の病児保育室として開設。鉄骨2階建てで、保育室のほか観察室、ホールを設置。		
	事業概要	病児回復期にあり、保育園などでの集団生活が困難な児童で、保護者の勤務等の事情により、家庭での育児が困難であると認められる場合に、あらかじめ二宮病院での診察を受けて利用許可を得た児童を保育する施設として設立。	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	288日	263日	△25日
開館時間	8:45~17:30	8:45~17:30	—

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
延べ利用者数	1,150人	860人	△290人
平均利用率	平均 4.0人/日	3.3人/日	△0.7人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	14,123,000	13,543,000	△ 580,000
法人会計（医業収益等）から繰入	0	2,745,627	2,745,627
収入計	14,123,000	16,288,627	2,165,627
人件費	10,908,000	13,240,469	2,332,469
管理費	315,000	61,663	△ 253,337
消耗品費	100,000	44,859	△ 55,141
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
修繕料	150,000	0	△ 150,000
通信運搬費	0	0	0
広告料	40,000	9,524	△ 30,476
手数料	0	0	0
保険料	25,000	7,280	△ 17,720
委託料	0	0	0
賃借料	0	0	0
事業費	0	876,597	876,597
一般管理費	2,900,000	2,109,898	△ 790,102
支出計	14,123,000	16,288,627	2,165,627
収 支	0	0	0

平成20年度 四日市市病児保育室『カンガルーム』運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	288日	263日	△25日	ほぼ計画どおり執行された	適
開館時間	8:45~17:30	8:45~17:30	—	ほぼ計画どおり執行された	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	個人利用者数	1150人	860人	△290人	利用者数減	適
	事業参加者数	1150人	860人	△290人	利用者数減	適
事業参加者実績	利用料0円層	300人	189人	△111人	利用者数減	適
	利用料1000円	100人	38人	△62人	利用者数減	適
	利用料2000円	750人	633人	△117人	利用者数減	適
稼働率	平均	85.00%	90.97%	4.97%	262/288日	適
	平日	90.00%	93.83%	3.83%	228/243日	適
	土曜日	80.00%	77.27%	△2.73%	34/44日	適

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
指定管理料	14,123,000	13,543,000	△580,000	利用者実績により精算	適
繰入金 医業収益等からの繰入	0	2,745,627	2,745,627	法人からの繰り入れ充当	
収入計	14,123,000	16,288,627	2,165,627		
人件費	10,908,000	13,240,469	2,332,469	〔通常勤務：看護師1名、保育士1名、臨時保育士1名および常勤職員の休暇補充対応職員を随時配置〕 支出については、平成20年度に「全国病児保育研究大会IN三重」が、四日市市を主会場に行われ、それに伴う大会負担金が事業費として支払われたために、例年に比べて支出が増えている。 また、人件費については、指定管理者として、より安全に、かつ充実した保育内容を確保するために、経験年数の長い、卓越した職員を配置したことから費用がかさみ、決算額が超過している。	適
管理費	315,000	61,663	△253,337		
消耗品費	100,000	44,859	△55,141		
燃料費	0	0	0		
印刷製本費	0	0	0		
光熱水費	0	0	0		
修繕料	150,000	0	△150,000		
通信運搬費	0	0	0		
広告料	40,000	9,524	△30,476		
手数料	0	0	0		
保険料	25,000	7,280	△17,720		
委託料	0	0	0		
賃借料	0	0	0		
事業費	0	876,597	876,597		
一般管理費	2,900,000	2,109,898	△790,102		
支出計	14,123,000	16,288,627	2,165,627		
収支	0	0	0		

総合コメント

当施設の年間利用者数は、その年の病気の流行により左右される。特に平成20年度は、インフルエンザの流行が弱く、感染者数が少なかったため、実施計画に比べ利用者数も少なくなった。事業収支の面では、支出が指定管理料収入を上回ったが、当施設を利用する場合は利用前に二宮病院での診察が必要であるため、法人の医業収益等から繰入されて、経理上の収支はバランスが取れている。また、当日の利用者数に応じて、二宮病院から看護師や保育士が適時派遣されるなど、柔軟な対応

平成20年度 病児保育室『カンガルーム』運営状況 チェックシート

項目	事業分析	適否判断	
利用実績	<p>開館日数：263日 延べ利用者数：860人 平均利用率：3.3人/日 稼働率：90.97%</p> <p>年間利用者数は、その年の病気の流行により左右される。特に平成20年度は、インフルエンザの流行期間が短く、感染者数も少なかったため、実施計画に比べ利用者数も少なくなっている。</p>	適	
事業 収支	収入	<p>本来業務については、指定管理料のみで、予定どおりであった。 法人が自主的に取り組んでいる外部団体への研修参加や顧客満足度の向上のための取り組みについては、法人として医業収益金からの繰り入れ等によって補われている。</p>	適
	支出	<p>支出が指定管理料を上回ったが、法人として取り組んでいる保育の質の向上に関する経費や、病気の流行に左右される利用者の減少への対応について、法人の医業収入から繰り入れされていたため、経理上のバランスは取れている。 人件費については、安全かつ充実した保育内容を確保するために、経験年数の長い、卓越した職員を配置したことから給与等の費用がかさみ、決算額が超過している。 また、平成20年度に「全国病児保育研究大会IN三重」が、四日市市を主会場に行われ、それに伴う大会負担金が事業費として支払われたために、例年に比べて支出が増えている。なお、指定管理契約の中で、光熱水費、通信運搬費、印刷製本費、手数料は市の負担分として予算化しているため、上記各費目は該当なし。</p>	適